

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 わくわくステーション		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		令和7年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		令和7年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月10日		令和7年3月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と連携を取りながら保育所等訪問を実施している。	保護者のニーズや現在の状況などを把握しながら定期的な訪問の実施。	今後も保護者と連携を取りながら、訪問を実施していく。
2	家庭や学校での様子を共有した話し合いの場の設定。	子どもの成長に悩みや不安を抱えている保護者に対して、学校や事業所での様子を伝えながら今後の支援の方向を共有している。	今後も継続して、保護者と同じ方向を向いた支援が実施していけるよう子どもの姿を共有する機会を設定していく。
3	学校での生活の様子を捉えながら、事業所での支援の在り方を検討。	訪問での様子を職員間で共有し、現在必要な支援の在り方を検討している。	この取り組みを継続し、多様な子どもたちのしえちようを支えていけるプログラムや教材を構築していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との連携	訪問事業の内容を説明する機会を確保していくこと。	訪問の意図や事業の内容を訪問先と共有し、理解を求めている。
2	訪問先と個別の支援計画や事業所での支援の様子の共有。	事業所での様子や家庭での様子、保護者の悩みなどを共有する時間が少ない。	訪問先と連携した支援を行うことができるよう、連絡や報告など情報の共有などに努めていく
3	訪問後の保護者へのフィードバックの在り方を検討	訪問後の保護者との情報共有を迅速に行えるような体制の確保。	訪問の報告書の作成方法を職員と検討し、スムーズに行えるよう構築していく。